



かてきょー

令和8年度 第1回

美濃地区 子ども応援会議



～子どもの笑顔と安心感を育む居場所づくり・絆づくり～

岐阜県では、地域全体で子どもたちの健やかな成長を支えるため、毎年、各地区において学校関係者や青少年育成団体、社会教育関係団体などの代表者が集まり、連携を深める会議を開催しています。美濃地区ではこの会議を「子ども応援会議」と呼んでいます。今回は、7月6日(月)に県立関有知高等学校で開催され約60名が参加した子ども応援会議の様子をご紹介します。

【当日の様子】

【授業参観】



【家庭教育講話】



【関有知高校の実践発表】



【生徒を交えた意見交流会】



【参加者の交流会】



「子どもの笑顔と安心感を育む居場所づくり・絆づくり」をテーマにした、子ども応援会議参加者と生徒との意見交流会では、生徒の皆さんが自らの考えや将来の夢について発表しました。

「誰もが自転車で安全に走ることでできる道路があるとよいと思います」「僕は刃物産業が盛んな関市に住んでおり、関市が好きです。将来は関市でもの作りに携わりたいと思っています」「専門学校で料理を学び、将来は料理人として自分の店を持つことが夢です」など、地域への思いや将来の目標が語られました。参加者にとって、生徒たちの地域への思いや将来への希望に触れることができる、有意義な交流の機会となりました。

【取材を終えて】

関有知高校では、「よき地域社会人」の育成を目指し、生徒一人一人が地域の一員としての思いを胸に、自らの目標に向かって取り組んでいます。校長先生からは、その成果として、地元への愛着や自己肯定感が育まれていることが紹介されました。子どもたちの成長や地域への思いに触れる貴重な機会となり、地域ぐるみで子どもたちを支え育てることの大切さを改めて考える場となりました。

郡上市立白鳥中学校

企業展

～地元で働く魅力を教わる～

郡上市立白鳥中学校では、6月25日（木）の参観日に、2年生親子を対象とした「企業展」を開催されましたので、ご紹介します。



企業展のお礼に各事業所に贈られた
生徒がデザインした感謝のステッカー

【開催の目的】

本校では勤労体験学習をキャリア教育の中核として位置づけ、地域社会を支える人材の育成を目指しています。夏休みに行われる勤労体験学習に向け、親子で地域の事業所から直接話を聞き、地域で働くことの意義や魅力について理解を深めることができるよう、学校運営協議会主催の「企業展」を開催しました。

【当日の様子】



体育館には53社の事業所ブースが設けられ、生徒たちは保護者とともに各ブースを回り、仕事内容への理解を深めました。各ブースでは担当者が業務内容や求める人物像について説明し、生徒たちは仕事のやりがいや必要な資格などについて積極的に質問しました。学んだことは夏休みの勤労体験学習にも生かされ、生徒たちは自分の興味や適性に応じて主体的に体験先を選択することができました。



生徒からは、「どの事業所の方々も、お客様や共に働く仲間との関わりの中で喜びややりがいを感じながら、仕事に取り組んでいることが分かりました。今日お話をしてくださった皆さんのように、私も将来、誇りをもてる仕事に就きたいです」といった感想が聞かれました。また保護者からは、「事業所の方々とのやり取りを通して、子どもが事前学習をしっかりと行った上で企業展に臨んでいることがよく分かりました。事業所の皆様には、どのような質問にも笑顔で丁寧に対応していただき、心から感謝しています」との声が寄せられました。

【取材を終えて】

この企業展は、学校運営協議会や地域の事業所、家庭が連携して実現した取組です。生徒たちは保護者とともに企業の方々から話を聞くことで、将来の生き方や働き方について主体的に考える貴重な機会を得ることができました。また、地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、夏休みの勤労体験学習へとつながる持続可能なキャリア教育の取組として、大きな成果を上げることができたことと思います。

美濃市立 美濃小学校

親子で考えるネットやゲームとの付き合い方

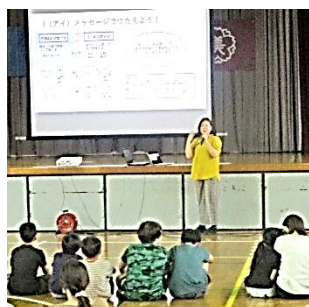
～親子でポジティブチャレンジ！～

美濃市立美濃小学校では、6月26日（金）の参観日に、希望する親子を対象とした家庭教育学級「インターネットの安心・安全利用講演会」を開催されましたので、ご紹介します。

【開催の目的】

講演会開催に先立ち、主催者である美濃小学校 PTA が全校保護者を対象にアンケートを実施したところ、「ネットやゲームとの付き合い方」について学びたいという声が多く寄せられました。そこで、子どもたちのインターネット利用の現状や、SNS トラブルの実態について理解を深めるとともに、家庭における見守りやルール作りの大切さを学ぶ機会として企画しました。

【当日の様子】



講演会は、岐阜県子ども・女性部子ども・女性政策課の出前講座を活用して実施しました。はじめに、PTA 会長より本校児童の SNS 活用状況について説明があり、「私たち大人も共に学びながら、まずは保護者が子どもたちの手本となるような SNS の活用を心掛けていきましょう」との話がありました。



「ルールは親子で一緒に考えることが大切です」という講師の助言を受け、参加者はその場で家庭でのルール作りを行いました。また、ネットやゲーム以外にも家族で楽しめる活動に取り組む時間を大切にするこで、家庭が安心して過ごせる居場所となり、親子のコミュニケーションがより円滑になることを学びました。

【取材を終えて】

美濃小学校 PTA の活動テーマは、「親子でポジティブチャレンジ」です。「失敗しても、また話し合えばいい。みんなで試行錯誤しながら進んでいきましょう」という願いのもと、親子でともに学び、対話を深めるきっかけづくりが呼びかけられました。

また、ルール作りには、「家庭が子どもにとって安心できる居場所であってほしい」「この講演会が各家庭にとって、前向きな一歩となってほしい」という PTA の願いが込められており、親子の絆や家庭での対話の大切さについて改めて考える機会となった家庭教育学級でした。

郡上市立明宝中学校 わが子は思春期・反抗期 ～親子一緒にPTA講演会&親子交流会～

郡上市立明宝中学校では、7月2日(木)の参観日に、親子を対象とした家庭教育学級「PTA講演会&親子交流会」を開催されましたので、ご紹介します。

【開催の目的】

思春期という心身ともに大きく成長する時期について、親子で理解を深め、ともに支え合いながら歩んでいけるよう、親子合同の講演会を企画しました。また、保護者や生徒が笑顔で交流する機会を設けることで、人とつながり、声をかけ合うことの楽しさや大切さを改めて感じてもらいたいと考え、講演会後に親子交流会を開催しました。

【当日の様子】

【PTA講演会】



〈演題〉 思春期ってなに?～反抗期のない子が増えた?～

〈講師〉 中濃県事務所 家庭教育推進専門職

【保護者の感想】

「手放す強さと信じる覚悟」という言葉が心に響き、これから迷ったり悩んだりしたときのお守りのような言葉になりました。子育ては本当に難しく、正解がないものだと感じています。それでも、子どもを信じる気持ちを大切にしながら、今の時代らしいフラットな関係を築き、一生切れることのない親子の絆を育んでいきたいと思いました。

【親子交流会】(親子が学年ごとにグループに分かれ、ローテーションしながらテーマに沿って交流)



〈テーマ〉

- ① 親から子へ、子から親へ 伝えたいこと
(感謝していること、こうしてほしいなと思っていること)
- ② 20年後の自分(子)、20年前の自分(親)
- ③ 「私、今日からこれ始めます!」「私、これ、やめます!」



〈子〉「毎朝、起こしてくれてありがとう」
(親)「みんな、素直でいい仲間だと思うよ」
ローテーションを行う度に和らいだ雰囲気になり、どのグループからも笑い声が聞こえ、楽しく交流していることが伝わってきました。

【取材を終えて】

PTA 役員の方々が講話内容や交流会のテーマについて主体的に検討し、当日の進行も担われるなど、運営面での積極的な姿勢がうかがえる家庭教育学級となりました。保護者同士、また子どもたちも地域の乳幼児学級からのつながりがあり、互いに気兼ねなく交流できる安心感の中で実施されました。終始温かな雰囲気に包まれた、実りある学習の場となりました。